社会生活の自立度評価（SIM）　　実施日：R7年7月

	項目		R7.7	R7.4	R7.1	R6.10	R6.7	備　考
			平均	平均	平均	平均	平均	
毎日の社会生活を維持するための項目	1．健康管理	必須	4.9	5.1	5.0	4.8	4.8	
	2．金銭管理	必須	4.3	4.6	4.5	3.9	4.1	
	3．身の回りの管理	必須	6.0	5.9	6.4	6.2	5.9	
	4．買い物（買い物先までの移動を除く）	必須	5.7	6.4	6.5	5.9	5.6	
	5．家事活動（調理含まず）	選択	5.1	6.1	5.9	5.2	4.9	
	6．調理	選択	4.4	4.6	5.0	4.5	4.4	
	7．生活のセルフマネジメント	必須	4.5	4.6	4.6	4.4	4.4	
社会の一員として積極的に参加するための項目	8 （1）公共交通機関を利用しての外出	1つを選択	5.7	6.5	7.0		5.6	
	8 （2）自動車の運転	1つを選択						
	9．人間関係	必須	3.5	4.3	3.7	3.3	3.5	
	10．仕事/学校	選択	5.2	5.4	5.2	5.0	5.1	
	11．地域での余暇活動	必須	3.6	4.9	4.2	3.8	3.5	
	12．日中活動	必須	5.2	5.5	5.2	5.0	5.1	
共通項目	13．制度・サービス活用	必須	3.1	3.2	3.1	2.8	2.9	
合計（１０～９１）			57.8	66.0	63.5	53.5	55.9	

＊除外項目は斜線

1.SIM実施者数　：１1名（男性5名、女性6名）　＊新規入所者２名実施
2.平均年齢　　：51.0歳
3.評価結果の分析
・合計点　　最高点：81点　最低点：47点
・項目分析　　今回、新規入所者２名の初回評価が含まれているため、前回に比べ、ほぼすべての項目の点数が低下した。

「公共交通機関を利用しての外出」
初めて公共機関のバスを使った訓練を実施した（今までは法人の送迎バスを使用）。時刻表の確認や経路の判断、乗降場所の理解、料金支払いなど、一連の流れを体験し、評価に反映することができた。

「身の回りの管理」「仕事/学校」
全体的な点数には現れていないが、各個人の項目で点数が上がっており、生活訓練の積み重ねが生活能力の向上や日中活動場所の拡大に繋がっていると考えられる。